

音と映像のプレゼンター



<https://www.hibino.co.jp/>



THE SOUND & VISUAL SPECIALISTS



ヒビノ株式会社
会社案内



プロフェッショナルのためのプロフェッショナル



代表取締役社長
日比野 晃久

時代の変化を先取りした トータル・ソリューションで リーダーシップを発揮

1964年の設立から、ヒビノ株式会社は60年を迎えました。

これも、日頃の皆様方からのご支援の賜物と心から厚く御礼申し上げます。

私は若い頃、音楽の魅力、LIVEの面白さに取りつかれました。長じて職業を選ぶとき、音響や映像を使ってプレゼンターである作り手側、送り手側に立ってみたいと思い、幸運にもその願いが叶いました。ヒビノの従業員数はグループ全体で1,700名以上。皆が私と同じ思いを共有し、それが当社グループの最大のエネルギー源になっています。

当社は「音と映像のプレゼンター」として、音響と映像の分野に、販売・施工とサービスの事業をマトリックス展開しております。最新鋭の機材とプロフェッショナルな人材で、音と映像の「こだわりカンパニー」という業界でも稀有な存在として、事業の選択と集中を図っております。

さて、プレゼンター側から言えば、LIVEには、「聴かせるLIVE」「魅せるLIVE」「売れるLIVE」があります。三つの要素がバラバラではなく一つのLIVEに集約されること、一つのLIVEの中にそのすべてが実現することこそが理想です。ヒビノの業務も同じで、「聴かせる機材と技量」「魅せる機材と技巧」「また行きたいと思うLIVE」の三つの要素が一つのLIVEに集約し、さらに一つの異空間を創造し提供することが目標なのです。

お客様の信頼に応えたい、短期ではなく長期にわたる信頼をいただきたい。そのためにヒビノは「技術力」をきたえ、三つの要素を備える人材や機材をつくり、観客の皆様に届けることが大切だと考えています。

これからヒビノは、将来に向け21世紀ビジョンを打ち出し、プロ用AV&IT(音響・映像・情報技術)を基軸としたトータル・ソリューション企業としての地位を確立してまいります。また、活力ある経営とハイテクでプロフェッショナル、高い信頼性、国際センスと文化性を持ったエクセレントカンパニーを目指し、高度文化社会の創出に貢献したいと考えております。

音と映像のプレゼンター

1964年の設立から半世紀以上。ヒビノは創造と革新を経営理念に掲げ、
「音と映像のプレゼンター」というコンセプトの下に、プロ用AV&ITを基軸とした
トータル・ソリューション企業として、時代の先頭を走り続けています。



hibino marketing Div.



業務用音響機器の輸入販売、システム提案

世界中のプロフェッショナルから高い評価を得る優良な海外ブランド音響機器を輸入販売。
マルチベンダーならではの自在なシステム構成力とサービス体制、メンテナンス技術で
お客様のニーズに合ったシステム構築をサポート。

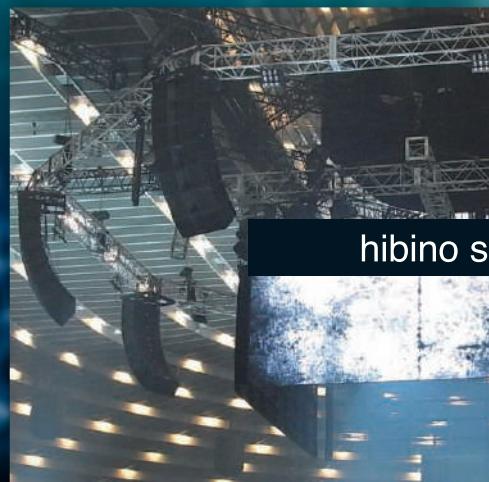
sales



hibino chromatek Div.

LEDディスプレイ・システムの開発・製造・販売

世界に誇る高精彩LEDディスプレイ・システムの開発・製造・販売を通じて、
ビジュアルプレゼンテーションやデジタルサイネージの可能性を拡大。



hibino sound Div.



service



hibino visual Div.

コンサート音響システムの企画立案、レンタル、オペレート ライブレコーディング、トラックダウン、マスタリング

コンサート音響業界のバイオニアとして、業界トップのポジションを確立。
他社の追随を許さない確かな技術力と運用ノウハウ、国内トップクラスのスタッフと圧倒的な機材量で、
あらゆるニーズに対応。

コンサート・イベント大型映像システムの企画立案、レンタル、オペレート

長年の経験に裏打ちされた大型映像の技術力と豊富な運用ノウハウ。
音と映像という2つの領域に精通する優位性を発揮し、業界最大級の最新鋭機材・システムで、
映像演出をフルサポート。

時代の向こうに新たなビジネスを見出す。 それが「ヒビノスピリット」。

ヒビノの歴史は、日本の音楽文化、映像文化、エンターテインメントの歴史にシンクロしています。

テレビの販売・修理に始まり、音響設備の製造、日本初のジャーユクボックスのレンタル業務、国外音響機器の輸入販売、

コンサート音響やイベント映像分野への進出、IT事業、映像機器の開発・製造など、

音楽や映像の可能性を追求する中で、次々と新たな事業の「芽」が生まれ、多くの人々に感動を提供してきました。

時代の動きを敏感に察知して潜在的なニーズをビジネスに変えていく——

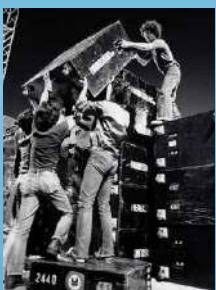
豊富な経験に基づく確かな技術力と、その先進性、チャレンジ精神こそ、創業から今日まで受け継がれる「ヒビノスピリット」なのです。

人々が豊かさを求め始めた時代

豊かさの象徴として洋楽へのあこがれが急速に高まりつつあったこの時代。生の演奏を聞く機会は少なく、オーディオ機器のほとんどが海外製品という環境の中で、多くの人々に「生演奏に近い」音響を楽しんでほしいという思いから、音響機器販売・施工事業の発想が生まれた。

大規模コンサートが急増した時代

コンサートでの音響設備の重要性と、高品質の音を求めるアーティストの要望をいち早くキャッチ。国内外の優れた音響機材と、それらを自在に操るエンジニアを同時に提供する「ハード+ソフト」の体制を整え、コンサート音響事業に本格的に参入した。



1980

複合演出のニーズが高まり始めた時代

音響機材と映像機材の複合的な演出ニーズが増加する中、国内で初めて、マルチビジョンを舞台映像装置として導入。映像事業への本格参入によって、コンサートのみならず大型スポーツイベント、博覧会、展示場などへと、ビジネスチャンスは拡大した。



2000

映像表現の可能性を拓くデジタル新時代

地上デジタル放送開始を翌年に控えた2002年、イベント映像事業で培ったノウハウを生かして高性能LEDディスプレイ・システムの開発をスタート。ヒビノの独自技術は日本ばかりでなく海外でも高く評価され、屋外用デジタルサイネージ市場にも参入を果たした。

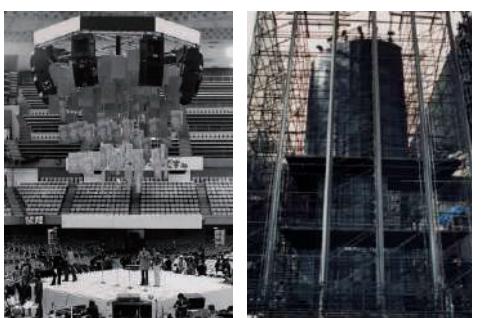


1956 ヒビノの前身となる
テレビの販売・修理店を開業
音響装置の製造・設備に転向



1964 「ヒビノ電気音響株式会社」(現ヒビノ株式会社)を設立
音響設備機器の販売部門を設置

1971 コンサート音響事業へ参入



1971 箱根アフロディーテにおけるPink FloydのコンサートにShureの音響機材を提供
1973 日本武道館におけるTom Jonesのコンサートで、日本初のフライングスピーカーシステムを採用
1978 オリジナルスピーカーシステム「BINCO」を完成。Bob Dylan初来日コンサートツアーで運用
1980 Y.M.Oワールドツアーの音響を全面的にサポート。海外へ進出

1984 映像部門を設置、映像事業に本格参入

1988 東京ドーム柿落し公演のMick Jaggerコンサートの音響サポート

1988 社名を「ヒビノ株式会社」に変更
「音と映像のプレゼンテーター」というコンセプトの下に、音響と映像という異なる領域で、これまでに例のない事業を展開

1998 長野五輪において会場15ヶ所の大型映像機器の貸出・オペレートを担当

音と映像のプレゼンテーター

HIBINO

1999 幕張特設会場におけるGLAYの日本最大規模20万人集客コンサートで音響・映像を担当

2000 シドニー五輪において会場4ヶ所の大型映像機器の貸出・オペレートを担当

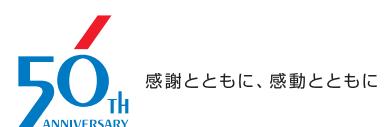
2002 映像製品の開発・製造・販売事業に進出

2002 ソルトレイクシティ五輪において大型映像機器の貸出・オペレートを担当

2006 ジャスダック証券取引所
(現東証スタンダード)に株式を上場

2005 愛知万博(愛・地球博)において大型映像機器の貸出・オペレートを担当

2014 設立50周年



2010 上海万博において日本館の大型映像機器の貸出・オペレートを担当

2015 ミラノ万博において日本館の大型映像・音響機器の貸出・オペレートを担当

2021 東京五輪において全競技会場の大型映像・音響機器の貸出・オペレートを担当



hibino marketing Div.

生き生きとした「音」から広がる
コミュニケーションシステム構築を
時代を超えてサポート

HIBINO
ヒビノマーケティング Div.

ヒビノマーケティング Div.は、ヒビノの事業展開において最も長い歴史を持つ事業部です。創業当時の日本は高度成長期への階段を駆け上がり、日本中がより豊かな時代への期待に沸き立っていました。海外からもたらされる迫力のサウンドはたちまち日本人を虜にしたものの、その演奏をライブに体験できる機会はまだまだ少ないという状況。そうした時代環境とコンシューマーの心理をいち早く察知し、ヒビノは「本物」に限りなく近いサウンドを日本人に伝えようと、サウンドの送り手となるプロフェッショナルをターゲットとした音響機器販売事業に着手しました。事業スタート以来今日まで、業界トップクラスを維持し続ける実績は、プロフェッショナルからの熱い信頼の証しです。



マルチベンダーならではの自在なシステム構築力

JBL PROFESSIONAL、AKG、CROWNなど世界中のプロフェッショナルから高い評価と信頼を獲得しているブランドをラインアップ。60年以上もの歴史の中で構築した国内外の音響機器メーカーとのネットワークは、ヒビノマーケティングDiv.の貴重な事業資産です。特定のメーカーに縛られないマルチベンダーだからこそ可能なシステム構築力が、業界トップクラスの実績に結びついています。

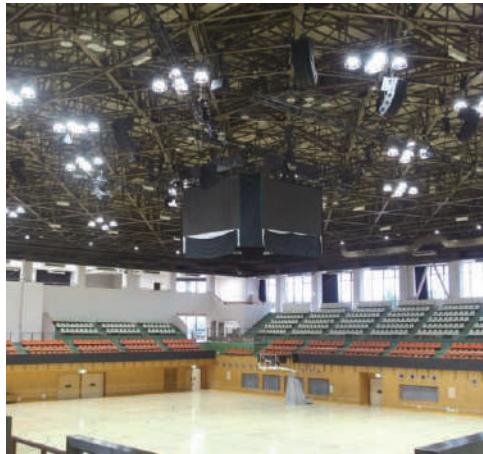
豊富な経験を元にした的確なコンサルティング力

お客様が求める「最高の音」のイメージは場所や目的、対象に応じて異なります。お客様のニーズを一つひとつ的確に把握し、それを忠実に表現する音響機器・システムを提供するためにきめ細やかなコンサルティングを実施。全国5ヵ所の営業拠点で、最新の音響機器に精通した経験豊かなスタッフが、お客様のパートナーとしてプランニングからメンテナンスまで、幅広い領域でサポートしています。

hibino marketing Div.

納入実績

ブレックスアリーナ宇都宮 様



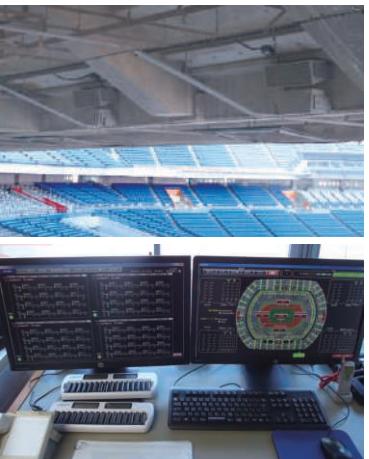
スピーカーシステム、パワーアンプ他、音響システム一式

俺のGrill 東京 様



ミキシングコンソール、スピーカーシステム、パワーアンプ他、音響システム一式

日産スタジアム 様



スピーカーシステム、パワーアンプ他、音響システム一式

輸入ブランド

AKG

crown

lexicon

dbx

JBL
PROFESSIONAL

lexicon

Soundcraft

DHD.audio

STUDER

HIBINO

<https://www.hibino.co.jp/>

ヒビノ株式会社 ヒビノマーケティングDiv.

営業部

大阪ブランチ
福岡ブランチ
札幌オフィス
名古屋オフィス

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8
〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚4-14-6
〒063-0813 札幌市西区琴似三条1-1-20 コトニ3・1ビル
〒454-0811 愛知県名古屋市中川区三ツ池町2-20

TEL:03-5419-1551 FAX:03-5419-1565

TEL:06-6339-3890 FAX:06-6339-3891
TEL:092-611-5500 FAX:092-611-5509
TEL:011-640-6770 FAX:011-640-6776
TEL:052-355-6913 FAX:052-414-6076

QFRONT

hibino chromatek Div.

国内外のハイエンドユーザーへ
ビジュアルプレゼンテーションの
可能性を拓く製品を提供

渋谷QFRONTビル「Q'S EYE」LEDディスプレイ・システム ChromaLED 6B／Chromawall 20

HIBINO

ヒビノクロマテック Div.

2003年に地上デジタル放送が開始され、映像コンテンツのデジタル化が加速するなか、新たなデジタル時代をいち早く見据えLEDディスプレイの将来性に着目したヒビノは、既存の事業に続く第四の柱としてヒビノクロマテック Div.をスタートさせました。従来の映像表示機器の問題点をクリアし、ヒビノビジュアル Div.などから寄せられる現場の生きたニーズを実現するために、研究段階からLEDディスプレイの開発に着手。高度な技術と徹底したマーケティングから生まれた自社ブランド「ChromaLED」は、ビジュアルプレゼンテーションの可能性を大きく広げる製品として、国内はもとよりビジュアルの質にこだわるヨーロッパを中心とした海外マーケットでも高い信頼を獲得しています。



hibino chromatek Div.

現場の声を生かした「使いやすさ」を追求

ヒビノクロマテック Div.の製品開発ポリシーは、「ユーザーが使いやすい製品」を提供すること。製品の企画段階から、ビジュアルプレゼンテーションの現場で活躍するシステムエンジニアやオペレーターの意見を取り入れ、試作品のテストもそうしたスタッフに依頼。その意見を開発にフィードバックすることによって、現場のニーズにベストマッチした、使いやすい製品の提供を目指しています。

どんな場面でもワンランク上のクオリティを発揮

シビアな照明条件の下でも鮮明でシャープな映像を得られるのが、高精彩LEDディスプレイ・システム「ChromaLED」の最大の特長です。屋内・屋外を問わず、また、曲面や球体、ウエーブ、短冊など、さまざまなスクリーンレイアウトをLEDユニット単位で構築。どのようなシチュエーションでも、ワンランク上のクオリティを備えた斬新で印象的なビジュアル表現を可能にします。

日産 グローバル本社ギャラリー 様



横浜・八景島シーパラダイス 様



池袋西口公園 様



ChromaLED

ChromaVision

infoLED

HIBINO

ヒビノ株式会社

ヒビノクロマテック Div.

LEDソリューション部
ビジネスソリューション部
大阪オフィス

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70 TEL:03-5419-1607 FAX:03-5419-1610
〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70 TEL:03-5419-1609 FAX:03-5419-1610
〒541-0057 大阪府大阪市中央区北久宝寺町4-4-2 本町コラボビル 9F TEL:06-6125-5798



hibino sound Div.

ハードとソフト、ヒューマンウェアで
高度なニーズに応える
コンサート音響分野のパイオニア



HIBINO

ヒビノサウンド Div.

ヒビノサウンド Div.は、日本のPA（コンサート音響）業界における草分け的存在です。欧米の人気アーティストが大挙して来日し始めた60年代末。その先進的な音響システムを目の当たりにしたヒビノは、これからは日本にもコンサートやイベントにおいて、よりサウンドを重視する時代が到来するに違いないと予測し、いち早く海外の音響機器や技術の導入を図りつつ、1971年PA事業に参入しました。以来、常に業界をリードし続けてきた事業の強み、それはハードウェア（機器）とソフトウェア（技術）、そして高いスキルと経験を有するスタッフ陣などのヒューマンウェアから成る三位一体の体制。独自の強みを最大限に活かしながら、期待を常に上回るハイクオリティなサービスの提供に努めています。



hibino sound Div.

独自の音楽理論に基づいた音響システムを提供

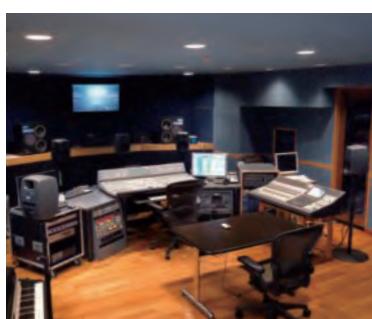
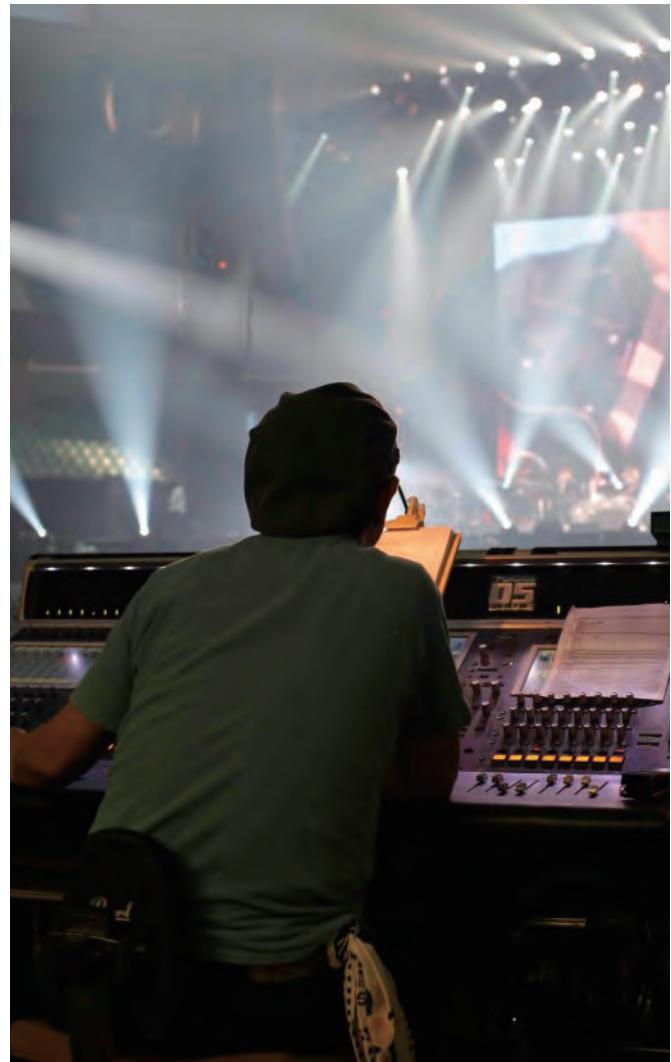
全国各地のコンサート会場を知り尽くした豊富な実績。それにより蓄積された経験とノウハウをもとに、ヒビノサウンド Div.は独自の音響理論を構築しながら、各種コンサートやイベントなどの幅広いニーズに対応した、音響システムの企画立案、機器レンタル、オペレーションをはじめ、さまざまなサウンドシステムを提供しています。

他社を圧倒する高いポテンシャル

30チーム体制で、ドーム・スタジアム5カ所の同時運用が可能なヒビノサウンド Div.。質・量ともに他社の追随を許さない現場運営スタッフ数と機材量を通じて、お客様のどんなリクエストにも確実にお応えするヒビノは、国内外を問わず多くのアーティストから厚い信頼を得ています。

世界が認めたレコーディング技術

制作に携わった作品がグラミー賞に輝いた、ヒビノサウンド Div.のサウンド・エンジニア。その確かな技術と表現力により、大型録音中継車「ODYSSEY」などを用いたライブ収録から、Pro Tools HDXをはじめ最新DAWを配備した録音スタジオにおけるトラックダウン、マスタリングまでトータルサービスを提供します。



HIBINO

ヒビノ株式会社 ヒビノサウンド Div.

東京ブランチ 〒135-0062 東京都江東区東雲2-9-23

スタジオ 〒108-0075 東京都港区港南3-5-14

大阪ブランチ 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8

TEL:03-6380-7744 FAX:03-6380-7743

TEL:03-3740-0600 FAX:03-3740-0603

TEL:06-6339-3861 FAX:06-6339-3864



hibino visual Div.

ベストソリューションの鍵は
他に類を見ない
「映像」と「音」のフルサポート

HIBINO
ヒビノビジュアル Div.

1985年に開催されたつくば万博は、さまざまな大型展示映像が花開いた一大イベントとして多くの人々の記憶に刻まれています。ヒビノビジュアル Div.の誕生はその前年の1984年。本格的な映像時代の到来を前に、その将来性に注目したヒビノは、PA（コンサート音響）事業に続く第三の柱としてイベント映像事業を立ち上げました。以後、音と映像を手掛ける他に類を見ない企業として、その独自性・優位性をいかんなく発揮。いまやプレゼンテーションに欠かすことのできない映像、そして音響システムまでをトータルにサポートする「音と映像のプレゼンター」として、最新鋭の機材、高い技術力、そしてトータルプロデュース力を通じ、各種イベントにおけるお客様のさまざまなニーズにベストなソリューションを提供しています。



業界最大級の機材配備と高い技術力

高品質なLEDディスプレイ・システムやプロジェクターなど、大型映像装置をはじめ、最新鋭の映像機材・音響機材を業界最大規模で取り揃えています。さらに、高精彩大型映像に関する高度な技術力をもつエンジニアを数多く配置。長年の経験と実績で築いてきた独自の映像調整技術と運用ノウハウで、機器の性能を最大限に引き出し、より効果的なイベント映像を実現します。

幅広いニーズに応える映像技術とプランニング

各種イベントの多様なニーズと演出イメージに応じて、理想的な映像システムをプランニングし、お客様の求めるイベント企画を実現します。コンサート、展示会、コンベンション、スポーツイベント、式典、博覧会など、あらゆるイベント映像をお任せいただくことが可能です。

hibino visual Div.

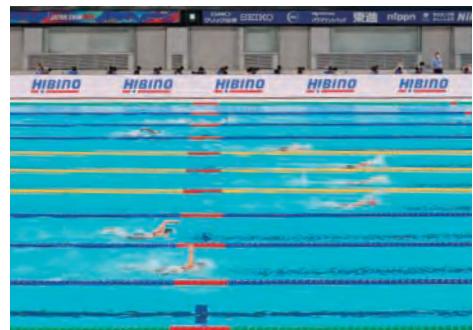
YUZU ARENA TOUR 2018 BIG YELL



東京モーターショー 2019 トヨタブース



JAPAN SWIM 2021



ヒビノ株式会社 ヒビノビジュアル Div.

HIBINO

<https://www.hibino.co.jp/>

Pro-imaging unit

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70

TEL:03-5419-1611 FAX:03-5419-1612

Visual 名古屋ブランチ

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70

TEL:03-6457-2371 FAX:03-6419-1612

Visual 大阪ブランチ

〒454-0811 愛知県名古屋市中川区三ツ池町2-20

TEL:052-355-6912 FAX:052-414-6076

Visual 札幌オフィス

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8

TEL:06-6339-3895 FAX:06-6339-3896

Visual 札幌オフィス

〒063-0813 札幌市西区琴似三条1-1-20 コトニ3-1ビル

TEL:011-640-1316 FAX:011-640-1317